

一〇一九五 佛政府佛印總督に五千萬ピアストル公債發行權限賦與 佛政府は佛領印度支那總督に五千萬ピアストルの公債を發行する權限を賦與した、右公債は一九三八年發行公債の借替分で佛政府は利拂及償還を保證してゐる (一〇〇八九)

一〇一九六 ガンチーボンベイ到着 ガンチーはブーナから列車でボンベイに到着した (一〇一七)

一〇一九七 緬甸東亞共榮圈各國視察特別調查團派遣 ビルマ國家主席バ・モウは同國の健全且迅速なる成長に資し且大東亞共榮圈の構成分子として共榮圈強化に寄與すべく今回法律審査委員會委員長バ・ハン博士 Dr. Ba Han を首班とする特別調查團を任命し日滿支泰其他共榮圈各國を視察せしめることとなつた旨發表した

五月十二日 金曜日

一〇一九八 中支那並に北支那方面兩部隊戦況

大本營から中支那並に北支那方面兩

部隊の戦況が左記の如く發表せられた

一、中支那方面の我部隊は五月一日信陽附近より攻勢を開始し北進中であつたが屢に許昌を攻略南進中であつた北支那方面の我部隊と五月九日礪山に於て相會し提擄を了した

二、京漢鐵道西方地區に作戰中の我部隊は既に洛陽東南方地區に於て湯恩伯軍主力を潰滅せしめ引續き進撃中である

三、本作戦開始以來五月六日迄に判明せる主要なる戦果は次の通である

敵に與へた損害 遺棄死體約一九五〇〇 俘虜 四〇三一

鹵獲品各種火砲 八一 銃器約七、〇〇〇

我方の損害 戦死 三一三 (一〇一四二)

一〇一九九 我空軍の遂川飛行場に於る戦果 支那方面我航空部隊は戦爆連合の編隊を以て三次に亘り在支米空軍前進基地遂川飛行場を攻撃所在の敵主力を潰滅し左記戦果を收めた、我方の損害自爆未歸還五機

撃墜 戦闘機七機 (内不確實三)

炎上又は撃破 大型十二機以上 小型二十六機 計四十五機以上 (一〇一八〇)

一〇二〇〇 我空軍韶州爆撃 我航空部隊は午前廣東省北部の要衝韶州に進攻同停車場

附近を爆撃軍事施設並に軍需倉庫二箇所を炎上せしめ全機歸還した(一〇一〇二)

一〇二〇一 我空軍ホーランディア敵陣爆撃 未明我航空部隊はニューギニア島北岸ホ

ーランディアの敵陣地を爆撃全機歸還した (二〇一四七)

一〇二〇二 米機ラバウル來襲 米機戦爆連合百七十六機がラバウルに來襲我所在部隊

は之と交戦七機を撃墜五機を撃破した、我方損害輕微 (二〇一八二)

一〇二〇三 米機トンキン盲爆 佛領印度支那當局發表に依れば在支米空軍はトンキン

地方を爆撃現地人間に死者數名負傷者十二名を生ぜしめた (二〇〇八九)

一〇二〇四 獨空軍コルシカ島爆撃 夜獨空軍重爆撃機隊はコルシカ島の敵飛行場を前

後二回に亘り爆撃多大の損害を與へた (九三二七)

一〇二〇五 米英機ドイツ爆撃 獨總統大本營發表に依れば有力なる米空軍爆撃機隊は

中部ドイツの敵艦所に晝間爆撃を加へ損害及死傷者を生じたが獨防空隊は四發爆撃機

七十八機を含み九十一機を撃墜した、夜英空軍の小編隊はドイツ北部海岸地區及ベル

ギーの數箇所に來襲した、西歐占領地區に對する反樞軸空軍の連續的強襲は上陸作戰

の準備と解される (二〇一六三)

一〇二〇六 スターリン首相赤軍司令官を歐洲侵入軍總指揮官任命要求 スターリン首

相は最近米英兩國に對し米英兩國は宣傳許りで未だに歐洲侵入作戰の決行を凝つてゐ

る事態に鑑みソ聯が第二戦線の主導権を握らなければならぬ旨及今次大戦に於て今迄ドイツに對し打撃を與へたのは赤軍のみであるから第二戦線を指揮するは赤軍の名譽であり義務であるから赤軍司令官を歐洲侵入軍總指揮官に任命するやう要求した旨子ユーリツに發同盟電は報道した  
(九八五八)

一〇二〇七 米一部男子召集延期 米徴兵局長官ハーシエーは、三十歳以上の男子で戦時緊急職務に従事してゐる者は新規定の出来る迄、二十六歳乃至二十九歳の男子は當分召集を延期する旨發表した  
(九九六九)

一〇二〇八 米英ソ三國政府ハンガリー外四箇國に對獨協力停止勸告 米英ソ三國政府はハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、フィンランド四箇國々民に對し、各國民は獨軍側に參戰した責任は免れることは出来ないが戦争から脱退し獨軍との協力を停止することによつて各國民自身の究局に於る犠牲を軽減し得るであらう旨の共同宣言を發表した  
(二〇〇一四、九五一六、八六九五、九九二一)

一〇二〇九 反樞軸國際労働會議閉會 反樞軸國際労働會議は閉會した  
(二〇一八七)

一〇二一〇 米パツカード自動車工場罷業擴大 米デトロイトのパツカード自動車工場職工長の罷業は漸次擴大し今週に入り参加人員三千五百罷業工場数は十四に及び同會社當局は本日夜に入り遂に三萬の労働者を擁する同社關係の全工場閉鎖の已むなきに

至つた

一〇二一一 サルヴァドル内閣成立  
サルヴァドル臨時大統領メネンデスは内閣を組織した  
(二〇一七三)

一〇二一二 獨特使ストツクホルム着  
獨外務省スカンヂナヴィア部長フォン・グラン  
ドヘルはストツクホルムに到着した  
(二〇一二四)

一〇二一三 昭和十八年度末國庫現計  
三月末現在に於る昭和十八年度國庫現計は歳入  
總計百一億三千百四十一萬圓、歳出總計五十九億八千五百六十七萬七千圓で前年同様に  
比較すれば歳入は三十五億六千五百三十四萬一千圓、歳出は十九億七千七百五十三萬  
四千圓の夫々増加である旨大藏省から發表せられた  
(九六八七)

一〇二一四 米機ラバウル來襲 米機戦爆連合約九十機がラバウルに來襲我所在部隊は  
其四機を撃墜四機を撃破した、我方被害なし (一〇二〇二)

一〇二一五 米英空軍獨領爆撃 米英空軍はドイツ及西方獨占領地帯に大規模爆撃を加  
へたが参加機数は約五千機、投下爆弾は八千噸に達した、米英軍當局は右爆撃を上陸  
作戦の準備攻勢と稱してゐる

獨軍當局の言明に依れば反樞軸空軍のシュテツチーン方面來襲に際し獨軍は四發重  
爆撃機三十二機を撃墜した (一〇二〇五)

一〇二一六 ソ聯空軍ラトヴィア及エストニア爆撃 赤軍長距離航空隊がラトヴィアの  
鐵道要衝トヴィンスタ立にエストニアのドルバトを爆撃した旨ソ聯情報局から發表せ  
られた (一〇一八四)

一〇二一七 開戦以來米海軍損害 米海軍省は開戦以來現在迄の米海軍、海兵隊立に沿  
岸防備隊の損害は左の如く四萬四千八百名に上る旨發表した

戦死一九二二九 負傷一二、〇七四 行方不明九、〇四四  
俘虜 四、四五三 計 四、四八〇 (一〇一〇八)

一〇二一八 獨總統スロヴァキア首腦會談 獨總統大本營發表に依ればヒツトラ―總統  
はスロヴァキア大統領テイソ博士、同首相トウカ教授、同國防相カトロシニ將軍立に

宣傳長官カスバルを引見兩國間に横はるる諸問題につき友好的精神に基いて會談を遂  
行した (五三二四)

一〇二一九 佛領北河政種元佛艦隊司令官に終身改役判決 佛解放委員會は軍法會議に  
於て元佛艦隊司令官ニドランド・デリアン Edmond Derrien に對しピゼル夕海軍基地  
に艦隊を獨軍に引渡した事に由り終身改役の判決を下した (九九二二)

五月十四日 日曜日

一〇二二〇 我空軍玉山及建威飛行場爆撃 我空軍爆撃機隊は午前玉山及建威兩飛行場  
に遂以滑走路其他の軍事施設に反覆爆撃を加へ敵に甚大なる損害を與へ全機帰還した  
(二〇一九九)

一〇二二一 我軍ホーランドイア敵陣地爆撃 我航空部隊は未明ニホーランドイア北岸ホー  
ランドイアの敵陣地を襲撃敵箇所を目標を悉碎して全機帰還した (二〇二一四)

一〇二二二 獨軍カステル・フオルテ撤退 リスボン後同盟艦は獨軍がカステル・フオ  
ルテを撤退した旨報道した (二〇一八五)

一〇二二三 ビルマ特別調査團入京 ビルマ特別調査團長バ・ハン博士は團員ウソ・ニ  
ユン及秘書を帶同午後空路入京した (二〇一九七)

一〇二二四 國民總動員運動中央總會開幕 大政翼賛會及翼賛政治會共同主催の國民總

激進運動中央總會が國民各層の指導者を招請して午前日比谷公會堂に於て開議せられた  
(九三九七)

五月十五日 月曜日

一〇二二五 米袋アレヨン島來襲 米空軍B26二十一機が午前アレヨン島に來襲我所在

(二〇一六一)

部隊は之と交戦四機を撃破した、我方損害極めて輕微

一〇二二六 敵機とアタ島來襲 午前ビアタ島に敵機爆連合十一機來襲所在我部隊は之

(二〇二二二)

を激空襲に依り其七機を撃退した、我方損害未詳遠二機(一〇二二二)

一〇二二七 獨空軍英本土爆撃 獨軍當局の言明に依れば有力なる獨空軍爆撃機隊は朝

英本土南岸のプリストル港を襲撃市街及港湾地區に大量の高性能爆弾及焼夷彈を投下  
した

(二〇一三一)

有力なる獨空軍重爆撃機隊は夜英本土南岸のホーツマス港を襲撃約三十分に亘り港  
灣並に市街を爆撃した

一〇二二八 獨空軍伊載敵陣地爆撃 獨軍當局の言明に依れば強力な獨軍爆撃機隊は

伊載島のミンツルノ、カステルフォルテ其他の反樞軸軍陣地を二時間に亘り爆撃した

獨軍當局の言明に依れば獨軍爆撃機隊は早朝より港湾地區を爆撃火薬積載荷役中  
と推定される船舶二隻を直撃彈を以て爆撃四千噸級貨物船一隻を炎上せしめ埠頭の石



油倉庫に火災を生ぜしめた

一〇二二九 獨軍サンタ・マリア・インフアンテ奪回 獨軍當局の言明に依れば獨軍は

数日前反福軸軍の手中に歸したサンタ・マリア・インフアンテ Santa Maria Infante  
を奪回した (一〇二二一)

一〇二三〇 獨軍サン・アンドレア撤退 獨軍當局の言明に依れば伊戦線テレニア海岸  
(一〇二二七)

地域の獨軍はサン・アンドレアを撤退した

一〇二三一 敵機ローマ郊外爆撃 反福軸空軍はローマ東北十八哩のテヴオリを爆撃し  
(一〇二一六)

た

一〇二三二 加快速艦撃沈 カナダ海軍省は快速艦ヴェラファイールド Velafield が北大  
(四八九〇)

西洋で輸送船團獲送中魚雷攻撃を受けて沈没した旨發表した

一〇二三三 英國王英艦隊將兵に訓示 英國王ジョージ六世は四日間に亘り英本國艦隊  
を査閲し旗幟上より艦隊將兵に對し、英國海軍は近く一層重大なる作戦を要求される  
ことになるべきを強く期待してゐなければならぬと述べた旨英海軍當局より發表せら  
れた (八二八五)

一〇二三四 在米英國市民英國歸還禁止 外交官廳に其他の官吏を含む在米英國市民は  
最近國家緊急の用務を帯びて旅行する場合を除き短期間の要件に就て英國に歸還する  
ことを禁ぜられた旨リスボン發同盟電は報道した (九九三五)

一〇二三五 佛解放委員会佛共和国臨時政府と改稱 佛解放委員会諸同會議はフランス

解放委員會の稱號をフランス共和国臨時政府と改める件を可決した(二〇二一九)

一〇二三六 駐重慶ソ聯大使重慶發 駐重慶ソ聯大使アレクサンドル・パニユシキンは空

路ニスタワに向ひ歸國の途に就いた (三七〇五)

一〇二三七 ソ聯政府は近くエルサレムに領事館を設置

する旨發表した (九四九二)

一〇二三八 駐日比島大使マニラ歸着 駐日比島大使ヴァルガスは空路マニラに歸着し

た (九一三五)

一〇二三九 谷大使入京 谷駐華大使は午後空路羽田飛行場着入京した (七一六三)

昭和十九年四月十六日—二十二日

五月十三日 土曜日

補遺 一〇二四〇 米對英租貸狀況 米租貸局は、昨年十一月十五日以降米國から英國

に供給された軍需品以外の物資主として復興資材用具及英國から更に他の諸國に再輸出される物資は悉く現金拂に依り軍需品のみは依然租貸法に依つてゐる旨發表した (一〇二二二)

五月十五日 月曜日

補遺 一〇二四一 我哨戒機敵魚雷艇撃沈 深更我哨戒機はブーゲンビル島北部の守ニ

夕沖に於て航行中の敵魚雷艇群を發見之を攻撃して其一隻を撃沈した (一〇二二一)

補遺 一〇二四二 英奇襲部隊パロス島襲撃 獨軍當局の聲明に依れば夜英奇襲部隊はパ

ルカンの遊撃隊と共同エーゲ海のパロス島を襲撃したが所在獨軍守備隊の爲に逐艦を拿捕された上撃退せられた (一〇二三一)

補遺

一〇二四三

コロンビア大統領留任

コロンビア大統領ロベスの辭表は上院に於

る多數黨の自由黨が之を承認しない爲ロベスは翻意して留任することに決定した  
(九七九八)

補遺

一〇二四四

洪使節ベタン主席訪問

ハンガリー使節フォン・ポブリクはベタン

主席を訪問ハンガリー新政府ホルテイ提督の親書を手交した(二〇〇一四)

× ×

× ×

× ×

× ×

五月十六日 火曜日

一〇二四五

我空軍ビルマ敵空軍部隊飛行場爆撃

ビルマ方面の我急降下爆撃機隊は北

部ビルマの敵空軍部隊飛行場を襲撃同飛行場滑走路を爆撃すること共に在地ダグラスD  
C3型機三機を炎上せしめ同三機を爆碎グライダー一機を炎上數機を撃破し全機歸還  
した  
(九九六一)

一〇二四六

敵機ラバウル及ブカ島來襲

敵戦爆連合百三十機がラバウルに來襲所在部

隊は之を邀撃其三機を撃墜三機を撃破した、我方の損害輕微

ブカ島方面の我基地に敵戦爆連合四十六機が來襲所在部隊は之と交戦其十三機を撃  
墜した、我方の損害は輕微  
(二〇二四一)

一〇二四七 ソ聯空軍獨護送船團襲撃

獨軍當局發表に依ればソ聯空軍は夜ヴァランゲ

ル半島東海岸沖の北氷洋に於て獨護送船團を攻撃したが爆弾に依り獨船一隻が損害を  
受けたのみで獨軍は赤機二十五機を撃墜した (二〇二四二)

一〇二四八 英空軍ベルリン爆撃

英空軍省發表に依ればモスキート爆撃機編隊が夜ベ

ルリンを爆撃した (二〇二一五)

一〇二四九 米陸軍青年將校不足

米陸軍參謀次長准將ホワイトは上院軍事委員會に於

て、米陸軍は過去六箇月間に種々の理由から將校六千四百人を除隊せしめたので目下

青年將校に不足を告げてゐる旨言明した (二〇二〇七)

一〇二五〇 米改訂豫算

日大統領は記者會見に於て、一月の豫算教書で要求した豫算

額はカイロ及テヘラン會談で決定された作戰計畫に基いてゐたが其後詳細な作戰計畫  
が樹てられたのど軍需生産が豫期以上の成果を挙げた結果左記の如く豫算額が改訂さ  
れた旨發表した (單位百萬弗)

新軍事費豫算額八五七〇〇本年一月豫算教書 (八五〇六) に依る豫算額に比較して

四八〇〇減であるが改訂豫算中には租賃豫算を包含するので純減少額は八三〇〇で

ある

陸軍省 豫算 三〇〇〇減

海軍省 豫算 四四〇〇減

戦時海運局 豫算 一〇〇〇減

其他戦時機關豫算 一〇〇増

(二〇一六六)

一〇二五一 米英ソ三國亡命政府協定調印 米英兩國政府とベルギー及オランダ兩亡命政府間並に米英ソ三國政府とノールウエー亡命政府間に解放後に於る行政問題に關する協定が調印された旨米英兩國政府から同時に發表せられた (一〇二〇八)

一〇二五二 米商業會議所會頭訪ソ 合衆國商業會議所會頭エリツク・ジョンストン

Erle Johnson

はスターリン首相の招聘に應じ空路華府出發ソ聯訪問の途に就いた

一〇二五三 駐英米大使華府歸着

駐英米大使ワイナントは華府に歸着した (一〇〇六四)

一〇二五四 反樞軸救済復興會議開催無期延期 反樞軸救済復興會議々長レーマンは、六月二十三日カナダのモントリオールで開催豫定であつた反樞軸救済復興會議は無期

延期となつた旨及右は英本國に於る交通及電信連絡の緊急制限が同會議に對する歐洲各國政府の準備を妨げることに因るものである旨發表した (九五八九)

一〇二五五 反樞軸情報局設置 反樞軸情報局設置に關する協定がロンドンに於て反樞軸十八箇國代表間に調印せられた亡命オランダ政府代表デ・マンが同局長に選出された (二〇二五四)

一〇二五六 英軍事費豫算案 英藏相アンダーソンは十億磅の一括軍事費豫算案を下院に提出提案説明中に於て、從來英政府の戦費は一日平均一千三百五十萬磅であつたが

最近は一千三百七十五萬磅に増加した旨を述べた (一〇一七五)

一〇二五七

英帝國首相會議閉會

英帝國首相會議は閉會した

(一〇一五七)

一〇二五八

英労働黨全國執行委員會對ベヴァン決議案採擇

英労働黨全國執行委員會

竝に労働黨院内幹部會は會議の結果黨所屬下院議員アヌーリン・ベヴァンの行動に就て、ベヴァンが故意に黨議を無視したのは遺憾で今後七日以内に同人が黨議に従ふ旨を特に公約することを要望するが公約を拒否する場合には委員會は同人の除名を勸告する旨の決議案を採擇した

(二〇一七六)

一〇二五九

ロメル元帥ノルマンディ海岸地帯視察

獨軍當局はロメル元帥は三日間に

亘リノルマンディ海岸地帯特にシニルプール附近の一定施設及同方面の陸上竝に海上の新設防務を視察した旨言明した

(九九五一)

一〇二六〇

ルントシュテット元帥ベタン主席會議

獨軍司令官フォン・ルントシュテ

ット元帥は佛國家主席ベタン元帥を訪問會談した

(九二八三)

一〇二六一 敵機東部ジャワ東端 戦爆連合の敵機五十機早朝印度洋上より東部ジャワに  
に不意内十数機はスラバヤ市附近に出現我地上砲火に依り其三機を撃墜され他は潰走  
した。我地上流砲の損害甚微 (先五二一)

一〇二六二 敵機ラバウル東端 敵機百六十機がラバウルに東端所在部隊は之と交戦其  
七機を撃墜七機を撃破した。我方の損害甚微 (一〇二四六)

一〇二六三 獨機スモレンスク東端 獨機大本營發表に依れば強力な獨空軍爆撃機編  
隊は夜スモレンスク停立場に集中的攻撃を加へ多数の焼夷弾及高性能爆弾を投下大火  
災及爆発を發生せしめた (一〇〇七一)

一〇二六四 伊西海岸獨防空砲隊戦果 イタリ―西海岸諸港及エルバ島方面の獨防空砲  
隊は同方面に來襲した反極軸空軍を邀撃米軍四機重爆撃機十五機を撃墜した (一〇二四七)

一〇二六五 獨軍方ツシノ撤退 獨軍當局の言明に依れば南伊カツシノの獨防衛軍は同  
地南方の空襲と關聯して戦線を短縮する爲反極軸軍に依り何等の損害を蒙ることな  
く夜計畫に従ひ其陣地を撤退した (一〇二三〇)

一〇二六六 獨米英停艦交換船バルセロナ入港 ドイツと米英兩國間の停艦交換船グラ  
デイスカ Gradisca 號及グリツプスホルム Grifsholm 號は相次で交換船バルセロナ



に入港した、グラディイスカ號には反樞軸國の負傷兵約八百名、グリツプスホルム號に

は獨人七百四十名が乗船してゐる

一〇二六七 米大統領租賃法延長法案署名

口大統領は租賃法延長法案に署名し、租賃

法が成立した最初の月一九四一年四月の租賃額は二千八百萬弗に過ぎなかつたが本年

三月には十六億二千九百萬弗租賃總額は二百四十二億二千四百八十萬六千弗に達した

旨言明した

一〇二六八 米四月中戰費

米戰時生産局は四月中の米國戰費は七十四億九千三百萬弗

に達した旨發表した

一〇二六九 米パツカード自動車工場罷業中止

米デトロイト市パツカード自動車工場

罷業従業員は陸軍航空部隊司令官アーノルドの強硬な罷業中止要求を容れて罷業を打

切ることに決定した

一〇二七〇 重慶軍事使節團華府着

商震以下九名の重慶軍事使節一行は華府に到着し

た

一〇二七一 タンジール獨總領事館閉鎖

英外相イーデンは下院に於て、スペイン外相

は英當局に對し同國はタンジールの獨總領事館を即時閉鎖することに決定而して右は

獨政府の承認を得た旨通告したと言明した

(八九三二)

(一〇〇五二)

(一〇一五二)

(一〇〇五三)

一〇二七二 延安代表重慶着

延安代表林祖涵は西安に於る豫備會談を終へ夕刻重慶代

(一〇〇五八)

麥王世杰と共に空路重慶に到着した

重慶の支那側及外人記者團一行は西北

一〇二七三 重慶外人記者團西北共產地區視察

(九一五一)

共產地區視察の爲空路重慶發延安に向つた

一〇二七四 重臣首相懇談會

重臣首相懇談會が午後首相官邸に於て開催され東條首相

若槻禮次郎、岡田啓介、平沼麒一郎、近衛文麿、米内光政、廣田弘毅、阿部信行及原

嘉道の諸氏が列席した、尙重臣會合は今後大體毎月一回首相官邸に於て行はれる豫定

である

(九七四八)

五月十八日 木曜日

(440)

一〇二七五 我ビルマ方面空軍敵空挺部隊飛行場襲撃

ビルマ方面我航空部隊戦闘機隊は十七日敵空挺部隊の降下せる敵飛行場を襲撃ダグラスD05型機二機、小型輸送機一機及戦闘機四機計七機を撃墜ダグラスD05型機四機を炎上せしめた。我方の損害は自爆一機であつた

(一〇二四五)

一〇二七六 敵機北千島襲撃 十三日晝間一機及同日と本日夜間敵機の敵機が北千島に

(九九四六)

來襲したが十三日夜空中戦に依り其一機を撃墜他を遁走せしめた

一〇二七七 敵機スラバヤ侵入 敵爆撃機三機がスラバヤ上空に一機宛侵入せしが我

(一〇二六一)

防空陣は其二機を撃破遁走せしめた

一〇二七八 獨軍長距離砲英本土砲撃 英佛海峡に布陣する獨軍長距離砲は夜突如砲門

(九八九五)

を開き對岸英本土を砲撃した

一〇二七九 米空軍東南歐洲爆撃 獨總統大本營發表に依れば米空軍爆撃機隊は白晝東

南歐洲の數地點に恐怖爆撃を加へ主としてベルグラード及プロエス等に於て市民の間に損害と死傷を生じたがドイツ及ルーマニア軍防空隊及獨海軍高射砲部隊は敵機三十

(一〇二六四)

五機を撃墜した

一〇二八〇 四秘密條約審議の爲米上院四分科會任命 米上院外交委員會は政府より同

付された四秘密條約審議の爲四分科委員會を任命した、外交委員長コナリーは、分科

委員會が審議を終了し其條項を承認した時に條約内容を發表すべき旨言明した  
(九三〇)

一〇二八一 米國民徵用法案 米陸軍生産局長官ネルソンの十八歳乃至の男子で徴兵局  
の許可なく農務乃至緊急軍需物資を離れた者は強制田區軍隊乃至労働隊に召集する  
旨の國民徵用法案審議中の上院陸軍委員會に於て、米軍需生産の隘路は労働力の不足  
にある旨及何等かの措置が急速に認められぬ限り恐るべき危険に進展する可能性が  
ある旨を述べた (九一六四)

一〇二八二 米海軍長官任命上院承認 米上院は滿場一致日大統領のフオレストル海軍  
長官任命を承認した (二〇一六五)

一〇二八三 亞學生に強制軍事訓練實施 アルゼンチン政府は中等學校並に大學の男子  
學生に一年間の強制軍事訓練を實施する旨布告した (二〇一三)

一〇二八四 英帝國首相會議公報 英帝國首相會議に於て 一、外交政策に就て完全に意  
見が一致した 二、全世界から專制と壓制を退治する旨の共同宣言揭示 三、日獨兩國  
の支配下に在る各國を解放して此等各國に民主政體の形式を自由に選擇せしめる意を  
に意見の一致を見た旨の同會議に關する公報が發表せられた (二〇二五七)

一〇二八五 佛少年農業労働奉仕決定 佛政府は今回農作物收穫確保の爲十六歳から十

九歳迄の少年を農業勞働奉仕に動員九地方に於て收穫作業に従事せしむる事に決定  
した旨佛政府から發表せられた (八八〇七)

一〇二八六 レバノン五箇國に公使館開設決定  
レバノン政府は近くアルゼエール、ロ

ンドン、華府、カイロ及バグダッドに公使館を開設する事に決定した旨ベルリン發  
(九九九九)

同盟電は報道した  
延安代表林祖涵は蒋介石と會談した

一〇二八七 延安代表蔣介石會談  
(二〇二七二)

一〇二八八 ヒルマ特別調査團長參内  
ヒルマ特別調査團長バ・ハン博士は參内  
(二〇二二三)

天皇陛下に謁見仰付られた

五月十九日 金曜日

二〇二八九 米空軍ベルリン爆撃

米空軍爆撃機隊は午後長距離戦闘機護衛の下にベルリンを襲撃住宅地区は無差別爆撃を加へ我が獨軍當局の言明に依れば獨空軍並に高射砲隊は米機七十一機を撃墜した

二〇二四八

二〇二九〇 アイゼンハワー司令部に歸還した

反極軸歐洲侵入軍總司令官アイゼンハワーはイングランド及北部アイルランドの反極軸軍を視察し夜ロンドンの司令部に歸還した

(一九八五八)

二〇二九一

米陸軍出撃回数

米陸軍航空部隊司令官アイノルドは記者會見に於て参

戰以來本年五月十日迄米陸軍航空部隊の歐洲及東亞各戰線に於る出撃回数は七千四百六十八回、投下爆弾量は四十六萬八千噸に上り此間の喪失機数は六百五十四機、

二〇二九二

米陸軍用舟艇建造豫算案下院可決

米下院は十八億弗の海軍及陸軍用舟艇建造豫算案を可決した

二〇二九三

造豫算案を可決した

アルゼンチン政府は元藏相ピネロ其他議員政治家の有力者數名を逮捕した

二〇二九四

出政府イスタンブールに戒嚴令布告

トルコ政府がツラニア運動の領袖を逮捕した結果イスタンブール市内に示威運動が行はれるに至り政府は同市一帯の地區

トルコ政府がツラニア運動の領袖を逮捕した結果イスタンブール市内に示威運動が行はれるに至り政府は同市一帯の地區

に戒嚴令を布告し、ツラニア運動の關係者等逮捕された數名の知識人は判逆罪の  
處で近き公判に付されるも、その旨發表した

○一九五 亡命ユーゴスラビア三人委員会 亡命ユーゴスラヴィア國王ペータル

二世は首相プーリツチの辭表を受理も暫定政府も元首相シモヴィツチ〔セルビア

民族代表〕、元クロアチア知事イワン・スバスツチ〔クロアチア民族代表〕及元駐カ

ナダ大使イヴオ・カシカール教授〔スロヴェニア民族代表〕の三名より成る三人委員

會を任命するも、既に決定した旨リスボン發同盟電は報道した

五月二十日 水曜日 千五百機を成る米空軍はフランスに對し爆撃を加へ

○一九六 米機フランス爆撃 米海軍省は開戦以來現在迄の損害は左記の如き四

一〇一九七 米海軍開戦以來の損害 萬四千九百七十九名に達する旨發表した

○一九八 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○一九九 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇〇 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇一 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇二 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇三 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇四 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇五 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇六 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇七 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇八 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

○二〇九 米潜水艦進水 計 四四九七九 米海軍省は潜水艦スボット號が西海岸の某造船所で進水

10299 米副大統領米國出發 米副大統領ウォーレスは國務省支那部長グインセン  
F. Carter Vincent、戰時情報局海外部長代理ラテイモア Owen Lattimore、外國經

濟院ヲ聯部連絡官ハザード John Hazard 等を隨ハ空路米國發重慶に向つた (九七五六)

10300 米海軍兵器追加豫算下院可決 米下院は六千五百萬弗の海軍兵器追加豫算 (10074)

案を可決上院に回付した 米下院反米運動調査委員會委員長聲明

10301 米下院反米運動調査委員會委員長聲明 彼は六月四日から十五日

ドイツ Martin Dies はテキサス州ジャスパーに於て彼は六月四日から十五日

迄の間ローレスウェルト政府の内情を暴露した發表を行ふ豫定である旨を聲明し米

國共産黨解散 米國共産黨は二二一日に於て開催され米國共産黨 (八九〇)

大會に於て正式に解散した 米戰時労働局は炭坑夫組合と炭坑主

10303 米國炭坑夫賃金契約戰時労働局承認 間に成立した基本賃金を日給八弗五仙とし坑内賃働時酬を以て賃金算定の基準とし (八一五六)

る趣旨の新賃金契約を承認した 米下院反米運動調査委員會委員長聲明

10304 ペルーとエクアドル兩國間の國境紛争 米下院反米運動調査委員會委員長聲明

はブラジル政府の居中調停に依り兩國の意見一致も交渉が成立した (四七九五)



一〇三〇五 濠洲新聞檢閱問題解決 濠洲陸相兼首相代略フォードと濠洲新聞發行業者聯盟總裁ヘンダーソンは、新聞檢閱問題に關する濠洲政府檢閱局と新聞發行業者間の爭議は解決した旨の共同聲明を發表した。右と同時に政府の檢閱方針に關する新規程が公布せられ新聞が經濟並に社會問題を論ずる場合には檢閱を要しないこととなつた。

(九八二四)

一〇三〇六 英議會休會

英國議會は二十六日から六月六日迄休會することとなつた旨

ストツクホルム發同盟電は報道した

一〇三〇七 陳友仁死去

元國民政府外交部長陳友仁は上海の自邸に於て死去した

一〇三〇八

自家用製鹽制限撤廢

鹽專賣法戰時特別勅令案が十六日の閣議に於て決定

同勅令並に同施行規則が本日公布即日實施せられ自家用製鹽の制限が全面的に撤廢せられた

(九八〇六)

五月二十一日 日曜日

一〇三〇九 敵機動部隊南島島空襲 二十日敵機動部隊小笠原群島東方海面に出現し艦

上爆撃機百十七機を以て二十日及本日の兩日に亘り南島島(六七四二)を空襲所在我

部隊は之を邀撃其三十二機以上を撃墜した、我方の損害は極めて輕微(一〇三二五)

一〇三一〇 米英空軍獨本土爆撃 獨軍當局の言明に依れば獨本土に來襲した約百二十

機の米戰闘機中三十八機は獨防空陣に依り確實に撃墜され、夜ライン下流の交通要衝

ドウイスブルグ及其周邊に盲爆を加へた英空軍爆撃機隊は極めて不利な條件を冒して

邀撃せる獨軍夜間戰闘機隊竝に地上砲火に依り四發爆撃機四十一機を撃墜せられた

(一〇二八九)

一〇三一 米上陸用舟艇建造狀況

米戰時人的資源委員會は、四月中の上陸用舟艇建

造高は前月に比較し三五%方の増加で現在迄の所建造實績は計畫を二%方超過してゐ

る旨及計畫目標は十五種八萬隻である旨發表した

一〇三二 米政府モントゴメリー會社所屬工場接收

イ州スプリングフィールド所在モントゴメリー通信販賣店所屬ハンマー

工場接收を命令した 駐サウチ・アラビア蘇聯外交代表アンカラ着 駐サウチ・アラビア蘇聯外

一〇三一三 駐サウチ・アラビア蘇聯外交代表アンカラ着 駐サウチ・アラビア蘇聯外

交代表アドウル・ケリム・ウラライフはサウチ・アラビアに赴く途次テヘランに到着

した

五月二十二日

月曜日

英空軍省發表に依れば獨空軍爆撃機隊が夜スコ

10314 獨軍スコットランド爆撃

ツトランド東部を爆撃した

獨總統大本營發表に依れば有力なる獨重爆撃機隊は夜ポーツマス軍港を爆撃し又快

速爆撃機隊は東部アングリア地方に散在する目標に對し攻撃を續行した(10317)

10315 獨軍ピコ撤退

獨軍當局の言明に依れば南伊戰線の獨軍は豫定通りピコを

撤退後方の陣地に就いた

10316 米英機獨諸都市爆撃

獨總統大本營發表に依れば米空軍爆撃機隊は白晝キ

ール市に對し恐怖爆撃を加へたが獨軍は其二十二機を撃墜した、夜更に英空軍はドイ

ツ諸都市を攻撃獨防空陣は之を邀撃其四發重爆撃機四十六機を撃墜した(10310)

10317 開戦以來米船員喪失數

米海事委員會は開戦以來米商船乗組員の喪失數は

五千名以上に達した旨發表した

(10298)

10318 米航空母艦進水

米海軍航空母艦マタニコウがワシントン州ヴァンクーヴ

アに於て進水した

口大統領は議會に左記要旨の第十五回租賃報

10319 米大統領の對議會租賃報告

告を送った

一、本年一月以降三月末迄に租賃法に依り反樞軸諸國に補給した軍需品の總額は三十億弗に達した

一、之を品目別にすれば飛行機二千百以上、戰車約二千、其他軍用車輛六萬以上で其大部分は歐洲侵攻作戰基地に向けられた

一、一九四一年三月十一日租賃法成立以來同法に基く米國の反樞軸諸國援助額は二百四十二億二千四百八十萬六千弗に達し内九七%迄が英帝國、ソ聯及重慶の三國に向けられた

一、太平洋及東亞戰域に對する現在迄の租賃額は約二十億弗で其五分の三迄が濠洲、ユージーランド、重慶、オランダ、英國、印度の各國軍用武器で空輸に依る重慶補給月平均額は一年前に比較して十五倍に達した

一、戰時情報局はアイリツプ・コヘンを反樞軸

給月平均額は一年前に比較して十五倍に達した

米戰時情報局はアイリツプ・コヘンを反樞軸

一、三二〇 米在英國米放送局々長任命 米戰時情報局はアイリツプ・コヘンを反樞軸  
歐洲侵入軍總司令官アイゼンハウアー直屬として英國内に設置された放送局々長に任命した

した

一、三二一 米民主黨及共和黨大統領候補指名大會 米國民主黨及共和黨大統領候補指名大會

名大會がシカゴに於て夫々六月二十六日及七月十日に開催される旨リスボン發毎日特

電は報道した

一〇三二二 アラスカ共和黨大會開催 アラスカのスカグウエーに於てアラスカ共和黨

大會が開催されアラスカに州制を布き州政廳を設置すべき旨の決議案が同大會に於て

採擇せられた

一〇三二三 米瑞典商社黒表追加 米國務省はスエーデン三十八商社が六月二日發表

れる黒表に追加される旨發表した

(一〇一二四)

一〇三二四 加首相オツタワ歸着 カナダ首相マツケンジー・キングはオツタワに歸着

した

(九九八三)

一〇三二五 勃内閣總辭職 チューリッヒ發讀實特電に依ればブルガリアのボジロフ内

閣は總辭職した

(八六九五)

一〇三二六 駐イラン蘇聯大使更迭 代理大使マクシモフ Maximov が駐イラン蘇聯大使

に任命せられた

(八五二三)





(追加)

史料目錄No.3/2

調查資料  
朝鮮銀行資料

日誌

戰爭關係重要事項

自 至  
昭和十九年一月 五月

戰爭關係重要事項日誌

金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	22 (430)
資料名	田中鐵三郎氏 所藏資料
保管容器	口108

通貨、金融史料	
分類	IBayy
整理番号	24/10
受入番号	V3013
名称	田中鐵三郎氏 所藏史料
備考	

附30009